

児童福祉施設基幹職員指導者養成研修プログラム (案)

Aコース：子どもの権利擁護と日々の養育

Bコース：子どもの発達とアセスメント

Cコース：家族支援とソーシャルワーク

Dコース：チームアプローチとスーパーバイズ

Eコース：子どもの精神的・行動的な問題の理解とその対応

Aコース：子どもの権利擁護と日々の養育

	科 目	研修形態	内 容	時 間
A	研修計画（共通）	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体における研修目標 ・研修計画の策定のあり方 ・効果的な研修のあり方 ・研修の評価と計画へのフィードバック ・その他 	60分
	研修技法（共通）	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング ・討議 ・事例検討 ・OJT（On-the-Job Training） ・効果的な研修方法を構築する視点 ・その他 	120分
	研修計画プログラムの作成（共通）	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・研修ニーズの把握 ・研修プログラムの作成 ・その他 	120分
	子どもの権利擁護	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利 ・社会的養護における施設の役割 ・被措置児童等虐待について ・施設における危機管理 ・虐待の再現性について ・子どもの集団づくり ・その他 	90分
	子どもの権利を守るための対応	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・アドボカシーについて ・施設内人権侵害行為への対応 ・子ども同士の加害被害等の防止と対応 ・その他 	120分
	日々の養育について	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境 ・衣食住のもつ意味 ・養育者に求められる姿勢 ・子どもの潜在的な可能性 ・共感的理解 ・その他 	120分
	子どもを守り育ちを支える養育のあり方について	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時の心構えと対応 ・居住環境 ・食事の意味と食事環境(食育について) ・安心できる環境構築のための工夫 ・グループ活動や行事について ・その他 	180分
	関わりながらの行動観察	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活の中からみえてくるもの ・共感的理解 ・子どもの潜在可能性に気づく ・子どもの声を聴くということ ・子どもの声にならないニーズをとらえること ・その他 	180分
	生活施設における心理治療の位置づけと活用	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・心理治療とは何か ・日々の養育と特別な治療技法 ・生活と心理治療との統合 ・心理職の位置づけ ・その他 	90分
				1080分

Bコース：子どものケアマネージメントのための発達理解とアセスメント

	科 目	研修形態	内 容	時間
B	研修計画（共通）	講義	<ul style="list-style-type: none"> 自治体における研修目標 研修計画の策定のあり方 効果的な研修のあり方 研修の評価と計画へのフィードバック その他 	60分
	研修技法（共通）	演習	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイング 討議 事例検討 OJT（On-the-Job Training） 効果的な研修方法を構築する視点 その他 	120分
	研修計画とプログラムの作成（共通）	演習	<ul style="list-style-type: none"> 研修ニーズの把握 研修プログラムの作成 その他 	120分
	心身の発達（概論）	講義	<ul style="list-style-type: none"> 身体的発育 知的、情緒的、社会的発達の諸相 ライフサイクル 脳の発達 その他 	90分
	乳幼児期の発達	講義	<ul style="list-style-type: none"> 愛着形成 基本的信頼 感覚運動期 しつけと自律性 学童期の発達 その他 	90分
	思春期・青年期の発達	講義	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の意味 学童期の発達 心身の変化 自己評価と自我同一性 思春期に発症しやすい精神疾患 非行 その他 	90分
	虐待の心身への影響	講義	<ul style="list-style-type: none"> 虐待の身体的発育への影響 虐待の心的発達への影響 不適切な環境下で学んでしまうもの PTSD（心的外傷後ストレス障害） その他 	90分
	アセスメント	講義と演習	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントのために必要な視点 行動観察について 医学的診断について 心理テストについて 情報の整理と理解 理解と援助方針 自立援助計画 援助の評価 その他 	240分
	ケースカンファレンス —的確なアセスメント—	演習 創作事例をも とに検討を行 う	<ul style="list-style-type: none"> 目的の明確化 事前資料の作成 進行の在り方 討論点の整理と援助方針 その他 	180分